



管内の百名山「両神山」



両神山(りょうかみさん、標高 1,723m)は、埼玉県の西部、秩父市と秩父郡小鹿野町の境目にあり、奥秩父山塊の北端に位置し秩父多摩甲斐国立公園に属しています。山頂付近は硬いチャートで形成され鋸歯状の岩稜の山です。

両神山は、伊弉諾尊(いざなぎのみこと)・伊弉冉尊(いざなみのみこと)の二神を祀っていることから両神といわれるようになったという説、日本武尊(やまとたける)が東夷征伐(とういせいばつ)の時、この山を八日間見ながら通って行ったことから、八日見山(ようかみやま)と名づけられた説、八つの頭を持った竜王(やおがみ)を祭る山が転じて両神山となったという説など、様々な諸説があります。山名の表すとおり、古くから武甲山(ぶこうさん)、三峯山(みつみねさん)とともに「秩父三山」と称され山岳信仰の山として知られ、多くの石碑や石像が残されています。



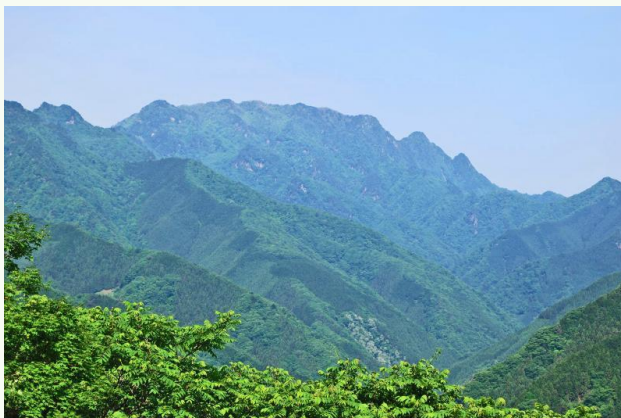
両神山には、コメツガ、ブナ、シオジなどの樹木があり、5月下旬から6月にかけてヤシオツツジ、シャクナゲ(左写真)などの花が咲き、秋の紅葉も見所となっています。また、カケス、オオルリ、コマドリ、イワツバメなどの野鳥が多種生息しています。

登山コースは日向大谷(ひなたおおや)コース、七滝沢コース、八丁峠コース、梵天尾根コースなどがあり日帰り登山も可能な山ですが、一部では鎖場があり険しい山でもあります。

埼玉森林管理事務所では、希少な動植物が生息・生育する秩父地域の国有林を後世に残すため、これからも森林の維持・保全に努めていきたいと考えています。

(埼玉森林管理事務所 調整官)

小鹿野町から両神山を望む



両神山町から奥秩父連峰を望む

